

第二回車椅子フィールドワーク報告書

前書き

前期に車椅子フィールドワークという、車椅子に乗って大学内を歩いてみて、大学内のバリアを感じようということを企画しましたが、11月14日に行った第二回の車椅子フィールドワークでは、車椅子に乗って歩くほか、高齢者体験セットをつけて学内を歩いてみました。今回も前回同様、参加者の感想を挙げていきます。

学生1

車椅子の体験をしてみて、図書館のドアが狭くて出入りしにくかったり、教室のドアが重くて開けにくかったり、一人では大変だと思いました。高齢者体験セットは目が見えにくいので視野がせまくなって少し怖いなと思いました。今日、フィールドワークに参加して自分たちが普段普通にやってることで車椅子を使っている人や高齢者の方にとっては大変なことが多いんだなと思いました。

学生2

前回のフィールドワークも参加したけど、改善点は見えてもそれを改善していくのって難しいかなって思いました。それでも、これから新しく造っていくものに関しては配慮の仕方があるのかなと思います。

学生3

- ・ 車椅子では、図書館の上の本棚にある本が届かない。
- ・ 車椅子トイレがすくない。タイルになっていた。(生協前)
- ・ 館毎の境目のポコポコしているところが大変
- ・ 車椅子を押す方も、段差に気をつけて一声掛けてあげたらいい。
- ・ ちょっと不自由になるだけで、階段の登り下りだとか普段と全く違った。
- ・ 車椅子でのドアの開閉、教室の出入り等、思った以上に大変だった。よりよい環境になって、誰もが住みよい大学になったら素敵だなあと思いました。

学生4

車椅子の体験は2回目でしたが、今日は初めて図書館へ行ってみただけど、いつも何気なく使っているコピー機とか、自販機とか本の高いところとかすごく不便な部分があるなと思いました。

高齢者体験は、今日少し行動してみてそんなに重く感じず、不便と思った部分は少なかったけど、きっと私生活であの状態だったらほとんどのことが自分でできないなと思いました。

学生 5

車椅子やアイマスクは何回も体験したことはあったけど、教室や図書館に入ったのは初めてでした。少しでも不便な点が改善されていけばいいと思いました。

学生 6

前回は参加して思ったんですが、扉の重さや段差が気になり、高さと言うものが気になりました。エレベーターも人が少しでも乗っていたら車椅子だと乗ることが出来ないし、一回に二台で限界なのでもっと広くなったらもっとたくさん乗れるだろうなと思いました。急に車椅子を後から押されると驚いてしまうから、声をかけてほしいと思いました。

学生 7

今日、高齢者体験セットをつけて歩いてみてよかった。顔とか、見えにくくて必死にみた。後、階段も大変だった。

車椅子は教室の入り口が大変だった。入り口のところをもっと平にするべきだと思う。図書館の2階へ行くのも、時間かかる。なので、図書館の中にエレベーターをつけてほしい。

学生 8

教室に入る時、段差があって入りづらかった等、車椅子は普段気づかない不便なところに気づかされた。

色々改善してほしいことがその通りになれば良いと思うが、大学側としても予算の面で厳しいからうまくいかないというのは仕方ないことなのかなと思った。

学生 9

今日の体験で思ったことは、もっと大学で改善できる点が多いと思いました。エレベーターを乗るとき、車椅子はらくだが、もっと広くしてほしいと思いました。

段差も辛いし、何より辛いのが教室に入るのが難しかった。高齢者体験セットでは、視界が悪く、見えにくかった。動くのも難しい。階段が特に難しかったのが、高齢者体験セットの感想でした。

学生 10

車椅子では、教室の出入りがとても大変でした。今回、初めて車椅子で図書館に行ったのですが、上の方の本が全く取れないし、2階にも行けずとても不便でした。エレベーターが狭いと厳しいです。(図書館に行くまでのエレベーターは車椅子2台でも大丈夫でした。)高齢者体験セットでは、特に階段の登り下りが大変で、落ちそうになりました。片足が曲がらないだけでもう片方の足や腕への負担が辛かったです。

学生 11

大学内には改善が必要な場所がたくさんあることがわかった。実際に改善可能な部分もあるから、大学側に要求してもいいと思う。1回だけだと良いかもしれないけど、毎日だと移動するだけでもいのすごく体力が必要になるから大変だと思う。

高齢者体験セットも、いろんな部分が制限されて移動がとても不便だった。階段の昇り降りが特に大変だった。

全体的に貴重な経験が出来たから良い体験になった。

総評

前回同様、体験してみても感想が多かったですが、「改善点が見えてもどう要望に出していいのかわからない」、「予算の問題が・・・」というのがありました。これは実際問題あります。車椅子学生もその点において改善要望を出すのが躊躇してしまっていると思います。

後、車椅子に乗っていて手話が見えない、という意見が出ましたが、これはどうでしょう。「車椅子の人と話すときは相手の目線に合わせて話す」という約束ごとをどこかで聞いたことはありませんか？手話も然りです。車椅子の人と話すときは相手の目線で話すということを忘れなければ大丈夫です。

今回、高齢者体験セットをつけて歩いてみるという試みを試みましたが、本学にはバリアフリー委員会に所属していませんが、自力歩行している肢体不自由学生がいます。彼らの立場に立って学内を歩いてみるということで、いい経験になったのでは、と思います。

最後に、今回は学習部との協同主催で、しゃべり場とのコラボレーション企画として、フィールドワーク後にフィールドワークをした観想・意見を述べ合いました。これで、計画していた目標を達成することができました。当日の準備の遅れや、ルートとプログラムの不調整など、反省点はありますが、それらを改良しつつ、来年度以降もこの車椅子フィールドワークを継続してほしいと切実に願います。最後にご協力してくださった社会情報学部教務課榎本さん、人文学部人間科学科新田先生、そしてバリアフリー委員会学習部の皆さんありがとうございました。